



- |                        |                                |
|------------------------|--------------------------------|
| 1 3丁目コーポ (S.62)        | 24 グラン・フェルティ 夕陽ヶ丘 (H.6)        |
| 2 GSハイム北島 (S.62)       | 25 S・T MUANA (H.7)             |
| 3 ベル・パークシティG棟 (S.62)   | 26 リーベスト千林清水 (H.7)             |
| 4 グリーンシティOSAKA (S.63)  | 27 大阪ガス実験集合住宅NEXT21 (H.7)<特別賞> |
| 5 ファミールハイツ城東 (S.63)    | 28 ボルト巽 (H.8)                  |
| 6 フローラルハイツ (S.63)      | 29 キオプラザ天濤橋 (H.8)              |
| 7 グランドメゾン帝塚山 (H.1)     | 30 BRICK COURT (H.8)           |
| 8 武田淀川ハイム (H.1)        | 31 メゾン文の里 阿倍野ツイン (H.9)         |
| 9 森の宮スカイガーデンハウス (H.1)  | 32 「四季彩都」くすのき館 (H.9)           |
| 10 ハイネス・ヴェルデ大正館 (H.2)  | 33 RE-SOUL清水谷 (H.9)            |
| 11 サンマンション阿倍野プラウ (H.2) | 34 アルス帝塚山 (H.9)<特別賞>           |
| 12 ムアナ88 (H.2)         | 35 ヒルトップハウス (H.10)             |
| 13 グレーシィ北島 (H.3)       | 36 ステイツタ陽ヶ丘 五條宮前 (H.10)        |
| 14 プレシオ四天王寺 (H.3)      | 37 グランソレイユ日本橋 (H.10)           |
| 15 松下電器産業(株) 淀川寮 (H.3) | 38 ファミール北大阪ライトコート (H.10)       |
| 16 グリーングラナコパヤシ (H.4)   | 39 ローレルコート城北公園通り (H.11)        |
| 17 桜宮リバーシティ            | 40 フラネスーベリア与力町 (H.11)          |
| ウォータータワープラザ (H.4)      | 41 ラグザ大阪・レジデンス (H.11)          |
| 18 ドムール平野南 (H.4)       | 42 深江スパイラル (H.11)              |
| 19 クロスオーバー (H.5)       | 43 ガーデンハイツ加美 (H.12)<大賞>        |
| 20 ノアール玉川コート (H.5)     | 44 棲s東門 (H.12)                 |
| 21 プレジオン (H.5)         | 45 ブルメリア西三国I番館 (H.12)          |
| 22 ベル・パークシティ (H.6)<大賞> |                                |
| 23 オークブリオタワー (H.6)     |                                |

※ ( )は受賞年度



OSAKA HOUSING DESIGN AWARDS  
Since 1987

平成12年12月

発行：大阪市 〒530-8201大阪市北区中之島1丁目3番20号 TEL.06-6208-9225

編集：大阪市都市整備局計画開発部住宅助成課



# 第14回 大阪市 ハウジング デザイン賞

受賞作品集



◆表彰目的

大阪市内で建設された魅力ある良質な都市型集合住宅を表彰し、その優れた面を明らかにすることにより、市内に良質な都市型集合住宅の建設を促進するとともに、広く市民の方々が住宅供給に携わる人々の住宅に対する意識の向上を図ることを目的としています。

◆対象

大阪市内で、概ね過去5年以内に完成した民間マンションを対象としています。団地の全体計画等に優れたものについては、団地全体が完成した時点で全体を審査の対象とすることができます。

◆推薦方法

毎年、6月頃に対象となる民間マンションの推薦を募集します。どなたでも推薦できます。

◆審査

推薦のあった住宅について、「大阪市ハウジングデザイン賞審査委員会」において、次の審査基準により書類審査、現地調査を行って選考します。

- (1) 市民の多様なニーズや地区の特性に対応した水準の高い住宅
- (2) 外観デザイン、配置計画、住戸計画等に優れた魅力ある住宅や住環境となっているもの
- (3) 新しい技術の開発や斬新なアイデアの導入等により、快適な住空間が形成されているもの
- (4) 人にやさしいすまいづくりの観点から、適切な配慮がなされているもの
- (5) 既存住宅を有効に活用し、優れた改造等が行われているもの
- (6) 維持管理が適切に行われ、住宅や住環境が良好に保たれているもの
- (7) その他、住宅や住環境に関して優れているもの

大賞

ガーデンハイツ加美 (賃貸)



既存の楠の大木を中心とした中庭を3方から抱くように5棟に分棟された住宅が配置された計画で、建物のボリューム感が分散され、ゆったりとした雰囲気を感じさせている。

南側中央の棟に大きなピロティを作ることににより、敷地北側の重要文化財指定の民家から中庭への緑の連続を周辺の街へと開放している。

また、高さに変化を持たせた住棟の傾斜屋根はスッキリとした軒先により引き締まったスカイラインを形成し、全体としては、外回りの柔らかな色調をはじめ行き届いた環境デザインにより、まちなみとなじんでいる。共用施設として屋上に設けられた庭園や集会所も明るく開放的で、近隣住民の利用も受け入れている。

住戸は独立性と可変性が考慮され、広さは60~125㎡、間取りもメゾネット型住戸が用意されるなど多様で、100㎡を越える住戸が20%を占めており、しかも、低廉な家賃で提供されていることは特筆に値する。インターネットで入居者の募集案内をするという今日的な供給方式も注目される。

事業者の住宅づくりへの思いと、設計者のそれに応じた設計力と施工者の力量とがうまく結びつき機能しあって生み出された品位のある住宅であり、周辺地域の格調を高めることにも寄与している。総合的に優れた、生涯を託すに足る賃貸住宅の先選例として高く評価でき、ハウジングデザイン賞「大賞」にふさわしい集合住宅である。今後の住宅作りに大きな影響力を発揮するように期待したい。

作品コンセプト

ずっと永くこの街で暮らし続ける者にとって恥ずかしくない、この街に住んで良かったと思える賃貸の集合住宅をつくりたいというのが、この地域に永く住んでいる事業主としての希望でした。

空き地の中央にボツンと残っていた楠の大木を残す事を最優先とし、今人々に求められている集合住宅のニーズは何か、多くの住宅が供給され続け、20年、30年先に人口が減った時でも喜んで住んでもらえる住宅はどんな条件を備えたものが、それらの検討結果がこの集合住宅53戸に凝集されています。

開放されたピロティと楠を中心とした庭園は近隣の人達の通り道であったり、子供達の遊び場となっています。隅々まで植えられた植栽や屋上緑化、バルコニーの緑等は街の中に和みをもたらしています。各住戸は60㎡~125㎡と広く、メゾネットやフロア付き、ドライコートのある地下階住居等53戸で29タイプのバリエーションがあります。いずれも戸建住戸に近い居住性や独立性があり、住み心地の良い住まいで、入居された方々にはいつまでも住んでもらう事を期待しています。住棟は階段を中心として構成され、住戸前の廊下を少なくしています。そして4階部分には全住棟へつながる廊下があり、どの住戸も最大1階分の階段歩行で住戸に行く事が出来ます。眺めが開けた5階の集会所は自由に使用する事が出来、木製デッキのテラスは植栽に囲まれ、ベンチが配置されています。

耐久性があり、メンテナンスがしやすいと同時に将来のニーズの変化に対応出来るよう配慮しました。住戸の広さは賃料を高くしますが、立地や敷地の広さを生かすことで、大阪市の優良建築物等整備事業の助成や公庫融資を受ける事が出来、入居者の方々に満足して住んで頂ける賃料に納まりました。

◆賞の種類

「大阪市ハウジングデザイン賞」とし、総合的な観点から見て特に優れたものを「大賞」、また、特定の分野において特に優れたものを「特別賞」とします。

◆表彰

表彰対象住宅の事業者、設計者、施工者及び管理組合等を表彰します。また、住宅には受賞を表わす銘板を取り付けます。

◆審査委員

【委員長】	巽 和夫	(京大名誉教授)
【委員】	東 孝光	(大阪大学名誉教授)
	井上 順	(住宅金融公庫大阪支店長)
	高橋 叡子	(大阪国際文化協会会長)
	徳矢 典子	(弁護士)
	宮井 市太郎	(日本放送協会大阪放送局編成部チーフディレクター)
	三輪 雅久	(大阪市立大学名誉教授)
	山下 英次	(大阪市立大学経済学部助教授)
	山本 晃	(元大阪市都市整備局長)

棲's東門 (コーポラティブ)



緑豊かな開放感と都市的利便性を持ち合わせた歴史的エリアに位置するこの建物は、定期借地権制度を活用し、建築士である土地所有者がコーディネーターとなって、入居を希望する14世帯の要望を調整して建設されたコーポラティブ住宅であり、コミュニティ性の高い集合住宅にまとまっている。コーポラティブの特徴を充分に生かし、住み手の思いを反映して、多様な居住空間が形成され、それぞれの家族形態やライフスタイルにあった住まいが実現されている。

住戸は、風や光を積極的に取り入れようとする配置となっており、内装や家具も無垢の天然木や旧材を再利用するなど、一貫した自然志向は、暖かく、清潔でそして軽やかな印象を与えている。

また、ウッドデッキのある屋上庭園や非常階段を居住者のコミュニティの場として日常的に使用するなどの工夫がみられ、都心居住の今後の一つの方向を示唆している。外観デザインは、適度な凹凸と仕上げ材料の変化で、都心の住まいらしい活き活きとした表情を持たせ、個人的で、街並みに目立った存在感を示しているが、内部の感性に対比してはいささかミスマッチの感が否めない。

一つ苦言を呈するとすれば、この住宅の名称が、はなはだ分かりづらく、快い印象を与えない点である。

所在地	天王寺区四天王寺2丁目	●構造・規模	RC造 地上9階 14戸
事業者	四天王寺コーポラティブ住宅組合	●敷地面積	413.50㎡
設計者	アトリエ・ホロニカ一級建築士事務所	●建築面積	235.89㎡
施工者	まこと建設株式会社	●延床面積	1,885.07㎡

〈総評〉

本年度は、推薦された125点の審査対象住宅の中から、書類による第1次審査で7点を選び、現地調査を行なった。その後、第2次審査を行なった結果、3点を受賞作品に決定した。そのなかでも、歴史的な街並みの残る地区に建設された「ガーデンハイツ加美」は、総合的な観点から特に優れた住宅として評価され、満票を得て大賞とした。

受賞作品は例年と比べ比較的小規模なプロジェクトで、事業者や設計者の顔がよく見え、成熟した住み手のニーズをうまくとらえた個性的な作品となっている。家族像やライフスタイルの多様化により、一般的なファミリー対応や、ワンルーム対応では受け入れがたい市場領域に、コーポラティブ住宅の実現、間取りの可変性の追求などで応えたものもみられ、住宅の選択肢が広がっている感がある。

今日、集合住宅の住戸平面が不良な形態に定形化しつつある中で、メゾネット形式を導入したり、角部屋を多くとったりした、独創的ではないが細やかな工夫が随所に見られ、集合住宅が成熟期に入ってきたことを感じさせられた。線についても、ガーデニングなどの方法により、個性的かつ自然な形で、ゆとりやすさを住空間に取り入れようとする努力が見られた。また、地域の景観や、地球環境への配慮など、住宅を取り巻く種々の環境の向上にもなみなみならぬ努力がなされている。

また、今年度のプロジェクトには、地代や建設コストの低廉化を、低家賃・分譲価格に反映させる工夫がうかがわれた。

ただ、依然としてカタカナや外国語を中心とした分かり難い住宅名称が使われており、もう少しデリケートな配慮が望まれる。

プルメリア西三国I番館 (賃貸)



L字型の敷地形状にあわせて、エレベーター、階段を中心にして建物を2棟に分けた、6階建、8戸の小規模な賃貸住宅である。

施工精度のよいコンクリート打ち放し仕上げの外観に、バルコニー、窓面で構成される外観は、簡潔で均整のとれた若々しく明るいデザインとなっている。

外壁と床をそれぞれ厚さ30cmの柱・梁とし、2面を開放した、いわゆる、薄肉ラーメン構造を採用することによって、通風や採光、遮音性を確保している。また、このフラットな空間のなかで、木製戸引と可動家具により、居住者がワンルームから3DKまで様々な居住空間をフレキシブルに実現できる可能性を追求したスケルトン・インフィル方式による興味ある賃貸住宅である。

先人の建築家が試みてきた様々な提案をよく消化し、新しいライフスタイルを提案する住宅の一つの具体例として実現させた、事業者と建築家の意欲を高く評価したい。

ただ、この可変システムで、居住者家族の長期的なライフステージの変化に対応するためには、まだ、課題が残されていると思われる。

所在地	淀川区西三国1丁目	●構造・規模	RC造 地上6階 8戸
事業者	浦原 弘	●敷地面積	246.30㎡
設計者	株式会社コンノ(又建築工房)	●建築面積	146.66㎡
施工者	株式会社岸本工務店	●延床面積	616.89㎡